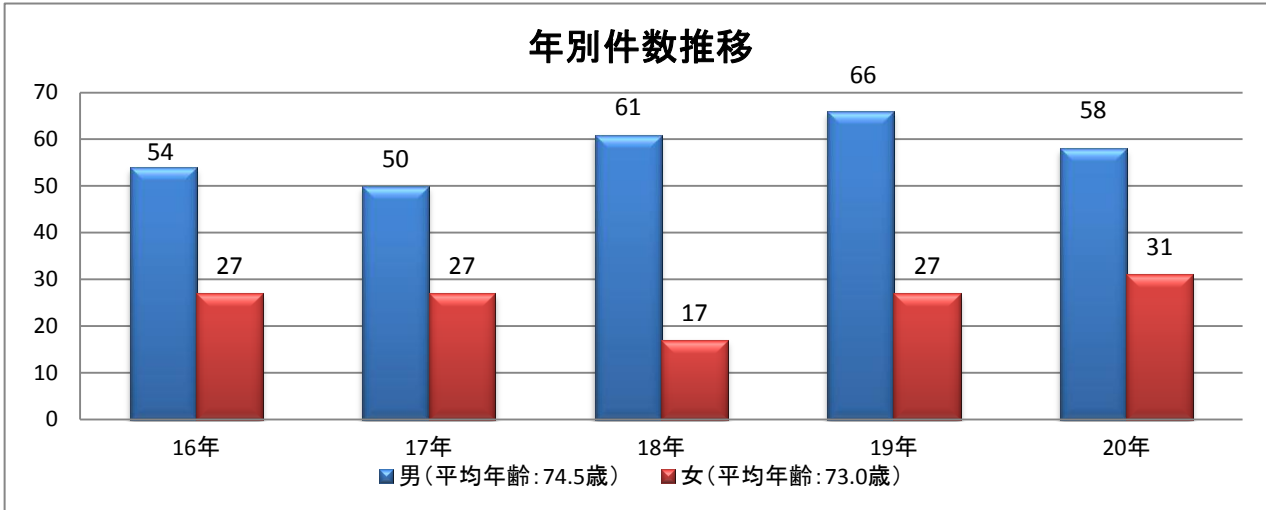
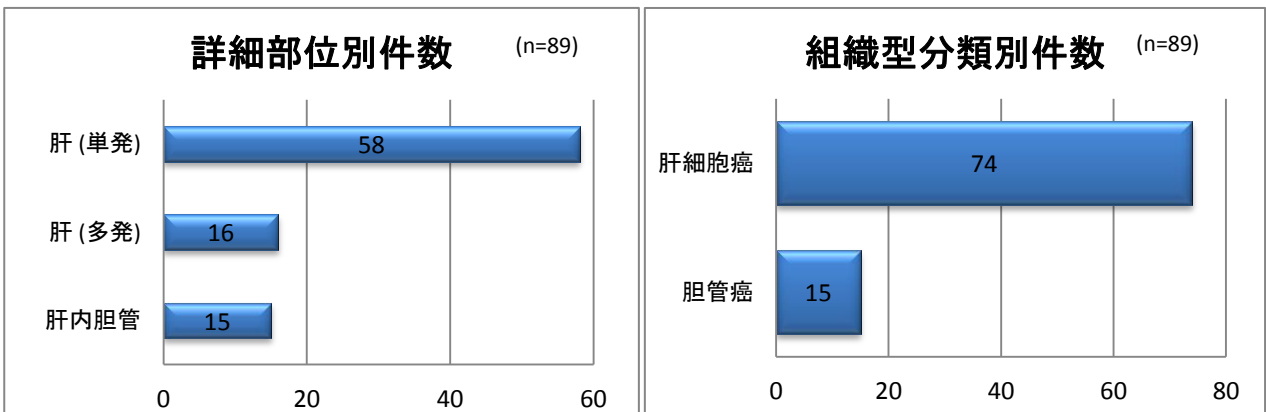


Ⅱ. 2020年集計＜部位別＞

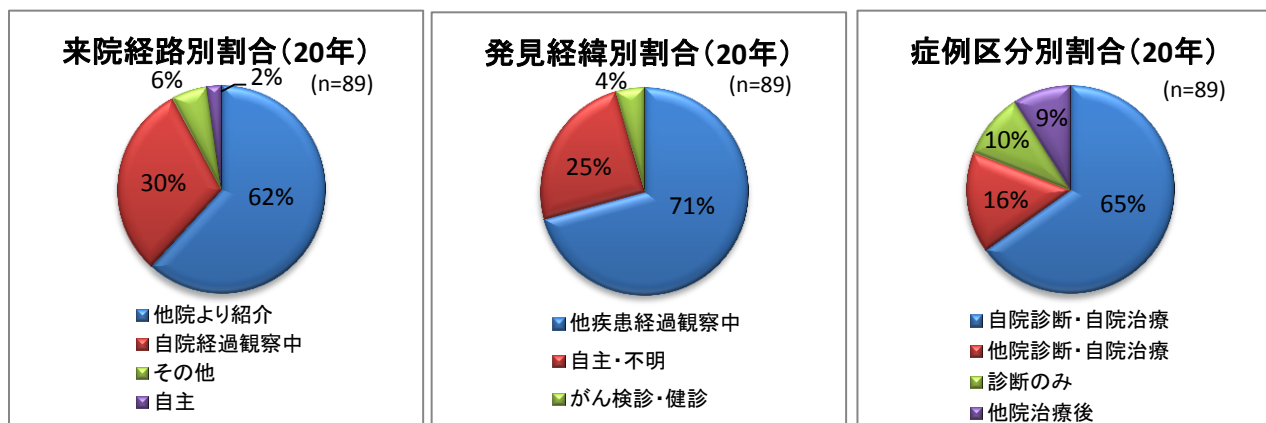
5. 肝臓



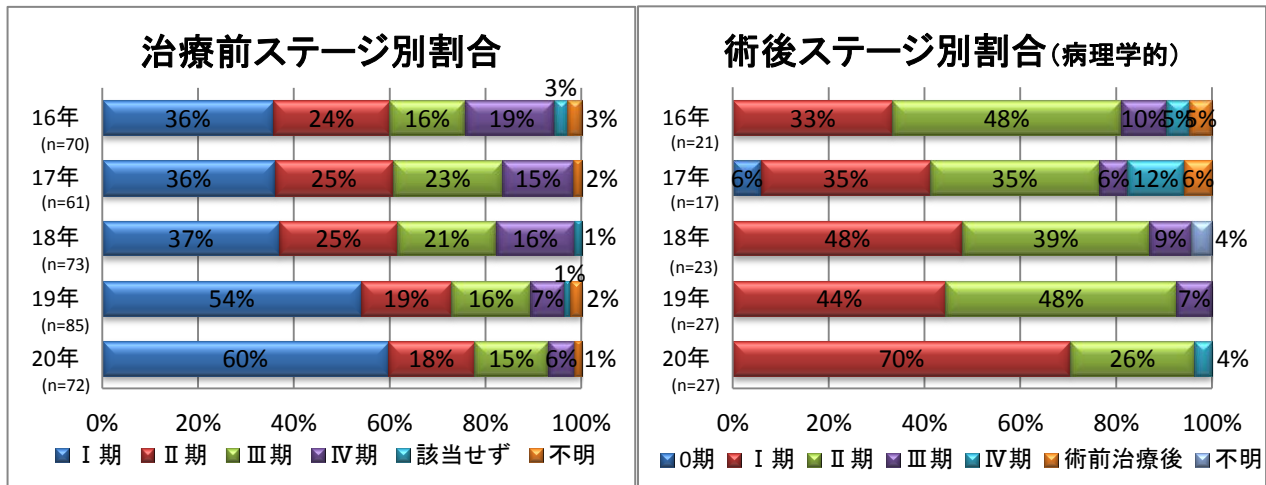
年別件数推移は女性の件数が前年より増加している。



詳細部位別では「肝(単発)」の件数が最も多い。
組織型分類別は「肝細胞癌」の件数が最も多い。

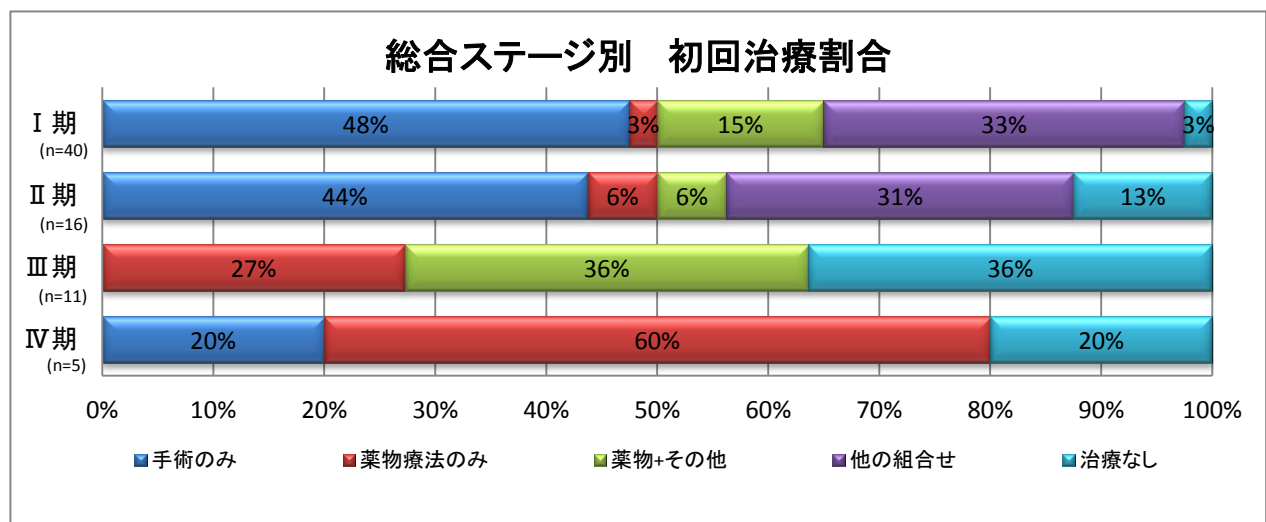


来院経路別割合は「他院より紹介」の割合が約6割を占めている。
発見経緯別割合は「他疾患経過観察中」の割合が約7割を占めている。
症例区分別割合は「自院診断・自院治療」の割合が約7割を占めている。



治療前ステージ・術後ステージ共に「I 期」の割合が増加している。

※「術前治療後」には、術前に化学療法や内分泌療法で病変を小さくしてから手術する症例が含まれる。



I 期とII 期では「手術のみ」の治療が最も多くなっている。III 期では「薬物+その他」と「治療なし」、IV 期では「薬物療法のみ」の治療が多くなっている。また、全ステージで「治療なし」の症例が見られ、これには高齢等の理由により経過観察を行う症例が該当する。